

ヘルメット着用推進についてオンラインでミーティング

2023年9月24日 九州版

カテゴリー：その他教育活動



ヘルメット着用自転車通学の様子

福岡県教育委員会

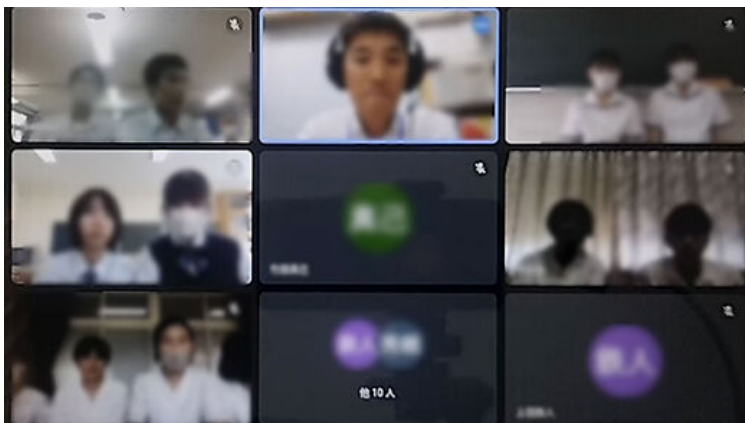
福岡県教育委員会では、今年度から実施している、学校の枠を越えて行う学習活動「学校横断型教育プログラム」の一環として、「生徒会協働オンライン・ミーティング～交通安全編～」をこの程、実施した。

このプログラムでは、「交通安全教育推進協力校」に指定されている県立高校9校の生徒会役員等が、自転車用ヘルメット着用における各校の現状や課題を共有し、ヘルメット着用推進に向けた方法や取り組みについて協議した。

当日の協議では、「髪型が崩れるのを嫌がる生徒が多い」という課題に対して、「おしゃれなヘルメットの試着会を企画する」、「ドライバーの校内持ち込みを許可してもらう」等のアイデアが出されるなど、活発に意見が交わされた。また、ミーティング後のアンケートでは、「他校の課題や取り組みについて聞くことができ、参考になった」、「次回は効果があった取り組みについて共有したい」といった好意的な感想が多かった。

県内の協力校は、門司学園高校、若松高校、小倉東高校、筑紫中央高校、糸島高校、福岡魁誠高校、伝習館高校、山門高校、田川高校の9校である。

この9校は、福岡県警察から「自転車ヘルメット着用推進モデル校」にも指定されており、周辺の学校・地域にもヘルメット着用を広めようと生徒会を中心に自発的かつ積極的に活動している。



オンライン・ミーティングの様子